

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター(AIC)・瀬戸内海考古学研究会共催

第13回アジア歴史講演会

考古学における新年代論の諸問題

講師：新井 宏（元韓国国立慶尚大学校招聘教授）

日時：2013年1月26日（土）15:00～17:00

会場：愛媛大学交友会館2F 交流サロン

講師の新井宏先生は理系的な観点から、考古学に大きく寄与する研究を多く発表されておられます。今回は、弥生時代の開始が大きくさかのぼることで話題のAMS年代論や、鉛同位体比による年代論などの問題点について、理系の立場から詳細な解説をしていただきます。

先生の西日本初となるご講演、皆さまのご来場をお待ちします。



[講師略歴]

東京都生まれ（1937年）
東京工業大学物理卒業（1960年）
大阪大学工学博士（1987年）
日本金属工業勤務（1960～2001年）
韓国国立慶尚大学校招聘教授（2001～2009年）

[著書]『まぼろしの古代尺』（吉川弘文館）、『理系の視点からみた「考古学」の論争点』（大和書房）など。

参加費無料、事前の申し込みは不要です。

お問い合わせ先：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター
電話：089-927-8391 Email: kotetsu@stu.ehime-u.ac.jp
HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>



次回予告：第14回アジア歴史講演会は3月9日（土）、小畑弘己先生（熊本大学・第25回浜田青陵賞受賞）にご講演いただく予定です。詳細が決まり次第、ご連絡いたします。